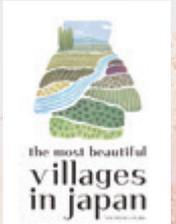


広報 ⊕
No.740
令和7年

いいたて10

www.vill.iitate.fukushima.jp





花色が豊富なクジャクソウ。夏の終わりに咲き始め、秋の訪れを告げる花です。

目次 CONTENTS

- 02 話題「はつかいちサンブレイズ入団テスト」
- 04 特集1「飯館村議会議員一般選挙」
- 06 特集2「令和6年度決算報告」
- 10 報告「9月議会定例会」
- 12 空から百景「秋の田園風景」
- 14 いいたて便り
- 16 話題のパレット
- 18 村からお知らせ
- 20 なりわいREPORT
- 21 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 22 いいたてPHOTOリレー ほか
- 23 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS ほか

📷 今月の表紙



女子硬式野球の企業チーム「はつかいちサンブレイズ」による「ティーボール教室」が開かれました。同球団選手の温かな指導のもと、子ども達が野球と交流を楽しみました。表紙は別れ際に選手とハイタッチする高橋絵優(えま)ちゃん。思い切り野球を楽しんだ後の笑顔です。詳しくは左隣の記事をご覧ください。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613 までお知らせください。

「はつかいちサンブレイズ」入団テスト@いいたて球場

9月20日、いいたて球場で、女子硬式野球の企業チーム「はつかいちサンブレイズ」が入団テストを実施。宮崎県と長野県からエントリーした2選手が、走塁守備・打撃などの実技テストに臨みました。

実証栽培を行っており、村と協定を結んで未来志向型農業に向けた取り組みにも協力していることから、同球団にはこれまで野球教室の開催などで応援をいただいています。いいたて球場のさらなる活用も視野に入れた今回の取り組み。観覧席からは「女子野球かっこいいね」という声も。迫力あるプレーを通して、一般来場者にも女子野球の魅力が伝わっていたようです。



フォロワーが2万人を超える球団のインスタグラム。球団についてさらに知りたい方はこちらから。



球団代表 峠元(たもと)真依さん

飯館村は自然豊かで人が温かいと感じています。球場の環境も素晴らしいです。福島とつながり、女子野球で福島に活気が生まれることを願っています。



島田誠ヘッドコーチ
ゴールデングラブ賞を6回受賞した元プロ野球選手で野球解説者。

聖光学院高校の女子野球部が協力。入団テストの後に部員向けの野球教室も開催されました。



ティーボール教室も開催されました

いいたてスポーツ公園の屋内コートで「ティーボール教室」が開かれました。握りやすい柔らかいボールを使って守備練習と打撃練習を行い、チームに分かれて試合も体験しました。



観覧自由の入団テストに続いて、子ども達を対象に、「ティーボール教室」が開かれました。

ティーボールは、投手を置かず、バッティングティーに置いたボールを打ってゲームを進めます。誰もが安全に野球やソフトボールの基本的な技術を身に付け、さらにはゲームの楽しさも味わえます。

「はつかいちサンブレイズ」の坂東瑞紀投手と小原美南投手が、笑顔で一人ひとりに声をかけながら、的確にアドバイス。子ども達も体験の中で、それぞれ上達を実感している様子でした。2チームに分かれてのゲームでは、ルールをしっかりと理解して接戦を繰り広げ、チームプレーを楽しんでいました。

野球がすごく楽しかった!

子ども達がかわかった!

真剣に取り組んでくれて、短い時間でしたが上達しましたね。私達も楽しかったです。



坂東瑞紀投手 小原美南投手

任期満了に伴う飯館村議会議員一般選挙が、9月13日告示、21日投票の日程で執行され、定員10人に対して11人が立候補し、選挙戦となりました。
選挙の概要と、選挙結果、投票率などを合わせてお知らせします。

令和7年9月21日執行
飯館村議会議員一般選挙

各候補者の得票数(得票順・敬称略)

当	296票	花井 茂 (白石)	無所属・現
当	288票	横山秀人 (前田・八和木)	無所属・現
当	265票	佐藤健太 (前田)	無所属・現
当	265票	高橋孝雄 (前田・八和木)	無所属・現
当	218票	佐藤勝見 (前田)	無所属・新
当	198票	菅野新一 (佐須)	無所属・現
当	196票	渡邊 計 (小宮)	無所属・現
当	187票	佐藤八郎 (深谷)	共産党・現
当	155票	飯畑秀夫 (小宮)	無所属・現
当	131票	佐藤真弘 (二枚橋・須萱)	無所属・現
	78票	塚越栄光 (草野)	無所属・新

■告示日 9月13日

■投票日 9月21日
飯館村役場
いいの交流館

■期日前投票
飯館村役場 9月14日～9月20日
サンライフ南相馬 9月20日
いいの交流館 9月20日



投票データ 飯館村議会議員一般選挙

当日有権者数 3,968人
(男性 2,052人 / 女性 1,916人)

投票者数 2,302人
(男性 1,190人 / 女性 1,112人)

〈投票者数内訳〉

当日投票者数 904人
(男性 486人 / 女性 418人)

不在者投票数 10人
(男性 6人 / 女性 4人)

期日前投票者数 1,388人
(男性 698人 / 女性 690人)

棄権者数 1,666人
(男性 862人 / 女性 804人)



全体投票率 58.01%
(男性 57.99% / 女性 58.04%)

※参考 前回投票率
全体投票率 66.02%
(男性 66.21% / 女性 65.83%)

全体投票率は、前回は8.01ポイント下回りました。

当選証書付与式

当選証書付与式は、9月22日に村役場で行われ、飯館村選挙管理委員会の伊東利委員長が、当選者に当選証書を付与しました。
また、新議員による最初の臨時議会が、10月3日に開催され、議長、副議長などが選任されます(9月24日現在の予定)。
飯館村議会の新体制と、議員の紹介は、次号11月号に掲載します。

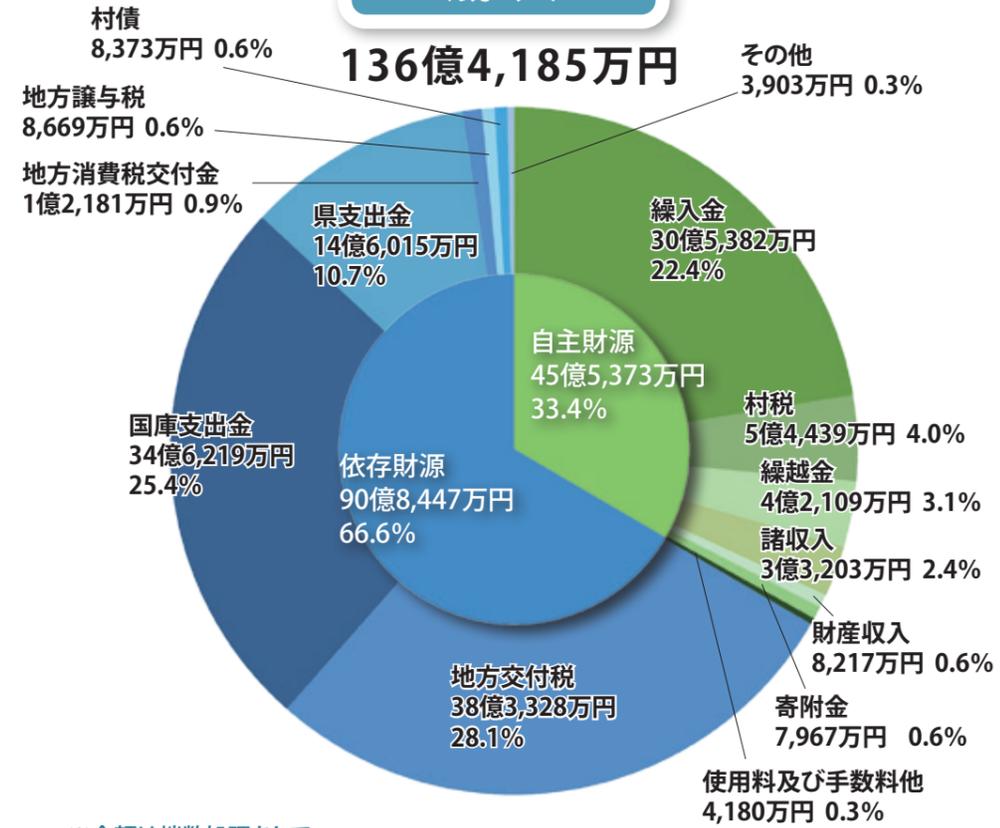


問 飯館村選挙管理委員会(村役場総務課内) ☎0244-42-1611

令和6年度 飯舘村 決算報告

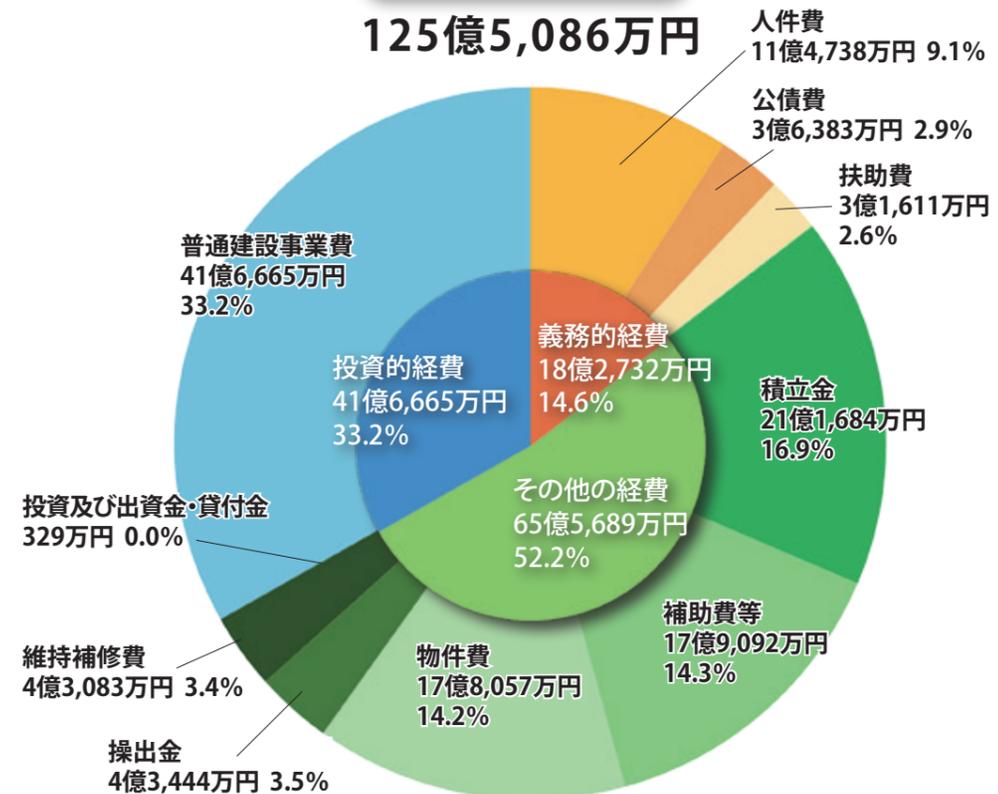
飯舘村における令和6年度各会計決算がまとまり、9月議会定例会で承認されました。令和6年度一般会計決算額は、歳入136億4185万円、歳出125億5086万円であり、それぞれ過去8番目、過去7番目の規模となりました。歳入歳出差引額は10億9098万円です。東日本大震災の復興・創生に関連する支出は2億2735万円を差し引いた8億6363万円の黒字となりました。東日本大震災の復興・創生に関連する支出は88億7918万円、歳出総額の70.7%を占めています。昨年度の一般会計・特別会計・企業会計の概要と村政の動き等についてお知らせします。

歳入



※金額は端数処理をして万円単位にしています。

歳出



令和6年度に
村民1人あたりに使われたお金
281万5,360円 (10円未満四捨五入)

※一般会計目的別歳出決算額
125億5,086万円
人口4,458人(令和7年3月31日現在)

農林水産業費
農業復興のために



1人あたり
104万4,170円

総務費
村全般企画・管理に



1人あたり
81万1,240円

土木費
道路や橋の整備に



1人あたり
16万1,730円

民生費
福祉増進のために



1人あたり
24万6,690円

衛生費
清掃・予防衛生に



1人あたり
10万1,900円

商工費
企業支援・観光などに



1人あたり
18万4,600円

教育費
学校教育の充実に



1人あたり
12万4,970円

公債費
借入金の返済に



1人あたり
8万1,610円

災害復旧費
災害復旧に



令和6年度は支出なし

消防費
消防・防災に



1人あたり
4万2,560円

※その他(議会費・労働費・諸支出金)…1人あたり 1万5,880円

特別会計・企業会計の決算状況 ※()内は前年度比 簡易水道事業会計と農業集落排水事業会計は、令和6年度より、特別会計から企業会計に移行しました。

特別会計

● 国民健康保険特別会計

歳入 11億 54万円 (0.4%減)
歳出 9億8,299万円 (1.2%減)

● 介護保険特別会計

● 事業勘定
歳入 10億 697万円 (0.3%減)
歳出 9億6,317万円 (0.6%増)

● 介護サービス事業勘定
歳入 585万円 (8.8%増)
歳出 585万円 (8.8%増)

● 後期高齢者医療特別会計

歳入 3,901万円 (11.4%増)
歳出 3,901万円 (11.4%増)

企業会計

● 簡易水道事業会計

● 収益的収支
収入 2億 487万円
支出 2億 946万円

● 資本的収支
収入 5,538万円
支出 6,077万円

● 農業集落排水事業会計

● 収益的収支
収入 1億 638万円
支出 9,049万円

● 資本的収支
収入 1,389万円
支出 2,392万円

村役場職員の給与などをお知らせします

村の行政運営における公正性と透明性を高めるため、「地方公務員法」及び「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員数等の人事に関する運営状況についてお知らせします。

●職員数の状況

(各年4月1日時点)

		職員数		
		令和6年	令和7年	
普通会計部門	議会	2	2	
	総務	17	24	7
	税務	5	5	
	民生	7	13	6
	衛生	5	7	2
	労働	0	0	
	農林水産	8	9	1
	商工	2	5	3
	土木	7	15	8
	計	53	80	27
	教育部門	9	17	8
	小計	62	97	35
公営企業等会計部門	その他	7	9	2
	小計	7	9	2
合計		69	106	37

※1

●特別職の報酬などの状況

(令和7年4月1日時点)

給料 (月額)	村長	80万5,000円	
	副村長	65万円	
	教育長	62万円	
報酬 (月額)	議長	30万円	
	副議長	25万1,000円	
	議員	23万5,000円	
期末手当	村長	(令和7年度支給割合)	
	副村長		
	議長		6月期 1.725月分
	副議長		12月期 1.725月分
	議員		計 3.45月分

●職員の平均年齢、平均給料月額

(令和7年4月1日時点:一般行政職)

平均年齢	平均給料月額
48.3歳	32万6,000円

●職員の初任給の状況

(令和7年4月1日時点)

一般行政職	大学卒	23万 300円
	高校卒	19万8,000円

●人件費の状況

(普通会計令和6年度決算)

住民基本台帳人口 (令和7年1月1日)	4,506人
歳出額	125億5,086万4千円
人件費	11億4,738万2千円
人件費率	9.1%

※人件費率=人件費÷歳出額



※1 職員数は、今年度より一般職に任期付職員を含めた数(会計年度任用職員等を除く)を計上しています。

※2 詳細については順次村ホームページに掲載しますのでご覧ください。

新しい村に向かって 令和6年度に実施した主な施策

令和6年度一般会計決算額の中で、復興・創生事業に要した歳出総額は88億7,918万円で歳出全体の約70.7%を占めました。令和6年度に村が行った主な施策について紹介します。

交流・移住・定住等促進支援事業 6,278万円



第7次総合振興計画策定事業 1,541万円



商業施設整備事業 4億9,085万円



深谷地区産業団地整備事業 1億9,660万円



飯館村の財政状況指数

令和6年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による村の財政状況を公表します。令和6年度健全化判断比率等を算定した結果、4つの指標において早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。このことから、本村の財政状況は健全な状態にあり、引き続き、適正な財政運営に努めます。

健全化判断比率	早期健全化基準 ※基準を下回るほど健全	飯館村の財政状況
一般会計における赤字の大きさの程度(実質赤字比率)	15%	0%(算定なし)
全会計における赤字の大きさの程度(連結実質赤字比率)	20%	0%(算定なし)
村の財政規模に対する決算年度中の借入金返済額の割合(実質公債費比率)	25%	5.9%
村の財政規模に対する将来負担額(借入金返済額等)の割合(将来負担比率)	350%	0%(算定なし)



令和7年9月議会定例会は、8月22日から9月5日までの日程で開かれました。一般質問は8月26日・27日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。
議案審議は9月5日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。

今議会で可決された議案など

報告

放棄した債権の報告について

議案

令和7年度

飯館村一般会計補正予算

令和7年度飯館村介護保険特別会計補正予算

令和7年度飯館村簡易水道事業会計補正予算

令和6年度飯館村一般会計及び各特別会計、事業会計の歳入歳出決算認定について

特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する
条例の一部を改正する条例

飯館村税特別措置条例の
一部を改正する条例

飯館村農林漁業体験実習館設置
条例等の一部を改正する条例

特定復興産業集積区域における
村税の特例に関する条例の
一部を改正する条例

飯館村広域的減容化施設影響
緩和基金条例を廃止する条例

飯館村議会議員及び飯館村長
の選挙における選挙運動の公
営に関する条例の一部を改正
する条例

福島県市町村総合事務組合
を組織する地方公共団体の数
の減少及び福島県市町村総
合事務組合規約の一部変更
について

承認

令和7年度飯館村一般会計
補正予算専決処分承認に
ついて

令和7年度飯館村簡易水道
事業会計補正予算専決処分
の承認について

村長村政報告

紙面の都合上、一部省略しています

飯館村第7次総合振興計画
現行の第6次総合振興計画の計画期間が令和7年度で終了することから、第7次総合振興計画の策定を鋭意進めています。第7次総合振興計画は、令和8年度から令和17年度の10年間を計画期間とし、村が目指す将来像とその実現化の方針を総合的・体系的にまとめ上げた村の最上位計画に位置付けられるものです。策定にあたり、これまで「なりわい」「健康」「教育」「生活」の4つの専門部会を設けて、積極的に議論を重ね、7月16日までに各部会とも9回の会議を実施しています。今後、策定委員会での議論やパブリックコメントなどを経て令和7年中の成案を目指し、策定作業を進めていきます。

深谷地区産業団地の整備

深谷地区産業団地整備旧飯館校等解体工事の1期工事を5月9日に契約しました。

建設課関係

現在、大谷地団地の隣接地において、10戸の移住・定住促進住宅の建設を進めています。また、村営住宅深谷団地において、西側からの強風対策として、深谷団地防雪・防風柵整備工事を進めています。

村道の草刈りについては、行政区で実施する住民参加型環境保全事業による草刈りが、16行政区において、1回目の草刈りが完了し、今後2回目の草刈りを実施する予定となっています。その他の路線は、村内業者への委託により草刈りを進めています。

国県道については、県による道路愛護交付金により地元で対応可能な17行政区約121.0kmの草刈りを実施しています。

ため池における放射性物質対策工事については、今年度は4か所のため池において工事を進めています。また、ため池の補修工事については、5か所のため池について工事を進めており、年度内完了を目指していきます。

館で実施しました。

今年度の集団健診受診者は、昨年度並みの933人でした。

集団健診未受診者については、福島市内では9月末まで、相馬・伊達方面では12月27日まで医療機関での受診が可能となっています。

健診の結果、指導が必要な方には保健指導を実施する他、未受診の方には、個別に受診勧奨をはかり、受診率向上と、村民の健康管理に努めていきます。

農政関係

今年の水稲の状況について、主食用米、飼料用米、新市場開拓米、ホールクロップサイレージ用稲の作付面積は、最終的に17地区で約297.6haとなっており、昨年の約252.0haと比較し、約45.6ha拡大しています。生育状況については、村内での水不足や高温による障害、病害虫の大量発生などの報告は今のところ届いていません。

農地中間管理事業を活用した農地の利用集積について、令和7年度末の地域集積協力金

校舎解体工事の本格化に先駆け、6月14日と15日の両日には相農飯館校の見学会を開催しており、飯館校の卒業生や勤務していた先生方、卒業生のお子さんやお孫さんなど、150人以上の方が訪れ、黒板にメッセージを書き記していただくなど、それぞれに思いを馳せていただきました。

村民の帰還状況

8月1日現在の村への帰還者は629世帯・1176人で、帰還率は26%となっています。これに、転入者275人と「いいたてホーム」の入所者等を合わせ、村内居住者は815世帯・1510人となっています。

避難を継続している方は、県外が141人、県内は福島市に1823人、南相馬市に256人、伊達市に226人、川俣町に204人、相馬市に114人など合わせて2769人です。

健康福祉課関係

令和7年度の集団健診を、6月18日から24日までの6日間、16歳以上の全村民を対象に、いちばん

9月下旬。実りの秋を迎え、各所で稲刈りが進められていました。村内では、食用米・飼料用米・加工用米・酒米・ホールクroppサイレージ(稲発酵粗飼料)用米を合わせた稲の作付け面積が297.6haとなりました(令和7年6月現在)。写真は関沢地区の水田。多くの人の努力と挑戦により、実りの田園風景が、年を追うことに広がっています。





打線は8安打の活躍。



力投する大内投手。

市町村対抗軟式野球大会 飯舘村チームが躍動

第19回市町村対抗福島県軟式野球大会の1回戦に飯舘村チームが登場。9月14日に小野あぶくま球場で、柳津町チームと対戦しました。

旧飯舘中学校野球部の出身で、高校・大学でも活躍し、現在も企業チームでプレーする大内良真投手がチームに加わり先発。打線も相手チームを上回る8安打を記録しましたが、追加点のチャンスを相手チームの好守に阻まれ3対8で敗れました。

本大会は無念の敗退となりましたが、戦力に厚みを増したチームの今後に期待が高まります。

裏磐梯の雄大な景色も満喫！ カヌー体験交流会

8月31日、北塩原村の秋元湖で、飯舘村教育委員会・いいたてスポーツクラブ・飯舘村公民館主催の『カヌー体験交流会』が開催されました。

事前に申し込んだ13人の参加者が、インストラクターによる操作講習を受け、2人乗りカヌーで湖に漕ぎ出しました。体験を満喫した後は、湖畔での交流会。現地の人気パン店「ささき亭」のパンを味わい、カヌー体験の感想を述べ合いながら、世代を越えて交流しました。



小中学生も家族と参加。カヌーに乗り湖上から裏磐梯の雄大な景色を体感しました。



完成した作品を手に、記念撮影をしました。前列中央が講師の巻野さん。色とりどりの作品ができました。

糸を使った 『革小物作り教室』開催

9月17日、交流センター「ふれ愛館」を会場に、『革小物作り教室』が開催されました。当日は8人の参加者が集まり、講師の巻野順子さん（飯舘町）の細やかな指導のもと、革を使ったキーホルダーと眼鏡ケースを製作しました。

革を切る作業から、糸を通して革を縫う作業、光沢を出す磨きの作業など本格的な作業に挑戦し、集中して思わず無言になる瞬間も。参加者の皆さんは難しい作業に時おり苦戦しながらも、和やかな雰囲気で作品づくりに取り組んでいました。

令和8年二十歳の成人式 実行委員会が計画を推進中

9月6日、交流センター「ふれ愛館」で、『第2回令和8年二十歳の成人式実行委員会』が開催されました。平成17年4月2日から平成18年4月1日に生まれた方が対象の「令和8年二十歳の成人式」は、令和8年1月11日に開催されます。

実行委員は、委員長の渡邊諒介さん、副委員長の庄司幸人さん、高橋大和さん、三本松博文さん、齋藤春香さん、佐藤彩菜さんの6人。会場の装飾や記念パーティーについて協議し、それらの準備や当日の役割分担について、話し合いを進めました。



左の写真は第2回の出席者。前列左から齋藤さん、佐藤さん、後列左から庄司さん、高橋さん、渡邊さん。



黄金の稲穂を手に杉岡村長（写真左端）、庄司さん（左から2番目）、鈴木副大臣（写真中央）と地区の皆さん。

長泥地区で避難指示解除後初の稲刈り

9月24日、長泥地区で営農再開した庄司喜一さんのほ場にて、避難指示解除後初の稲刈りが行われました。当日は長泥地区の住民が駆け付けた他、復興庁より鈴木憲和副大臣が視察に訪れました。庄司さんは「長泥で育てたお米を長泥で食べられる日がやっと来たと思うと最高の気分です。これからも地域住民と一緒に頑張っていきたいです」と語りました。今回収穫したお米は、全量全袋検査を経て市場へ出荷される他、10月に地区内で行われるイベントで振る舞われる予定です。

福島大学の学生・院生が フィールドワークで来村

9月11日から12日にかけて、福島大学の学生・院生合わせて10人のグループが、『協働プロジェクト学修“飯舘村の歴史と魅力を探るフィールドワーク”』で来村しました。

11日には村役場で、杉岡村長の講話を通して、東日本大震災の発災当時や避難期間の様子、現在の復興状況について理解を深めました。終了後は佐須地区へ移動し、1年前から伝承を支援する「虎捕太鼓」の練習に参加。12月には、山津見神社例大祭にて、虎捕太鼓の披露にも参加する予定です。



村役場を訪れ、杉岡村長の講話に熱心に耳を傾けた学生・院生の皆さん。終了後の記念撮影。

アンダンテ
開業!『カレー&カフェANDANTE』

9月19日と22日の2日間、いいたて移住サポートセンター3号館で浅原みゆきさんがチャレンジショップを開き、来店した約60人が本格カレーを楽しみました。

浅原さんは今回のチャレンジショップに続き上飯樋地区に『カレー&カフェANDANTE』(飯樋字原361)をオープン。今後は毎月上旬に5日間限定で営業します。今後の営業日



など詳細はInstagramでご確認を。

Instagram



管野清さんスポーツ振興で表彰

地域スポーツの振興に対する貢献が認められ、管野清さん(草野)が、市町村スポーツ協会相双地域連合会から表彰を受けました。表彰状の授与は、9月14日、富岡町総合体育館で行われました。飯館村でスポーツ推進委員や体育指導員を務める管野さんは、日本陸上競技連盟S級審判員としても活躍中で、各種大会で審判や大会役員を務めています。管野さんは「活動を続けてこられたのは家族の協力と、地域の関係者の皆さんのおかげです」と感謝を述べていました。



表彰は第78回福島県総合スポーツ大会地域スポーツ大会相双地域大会の開催に合わせて行われました。

マデイナカペラ
Madeina Capella2025開催!

9月6日、「Madeina Capella」が、いいたて村の道の駅までい館で開催されました。「までアカ」の略称で愛され、今年3回目の開催となるイベントです。

全15組・約100人のシンガーが集い、各グループが特色を生かして楽曲を披露。演奏ごとに観客の歓声に包まれました。また、シンガーの皆さんも「美しい自然の中で歌えて気持ちがいい」と心を動かされている様子でした。

演奏の終了後、出演者を含む全員を対象に、村の特産品が当たるビンゴ大会も行われました。



天候に恵まれ、透き通る青空に美しいハーモニーが響きました。



上飯樋地区のほ場で『飯館ホップ収穫祭』

「東京大学飯館村ホッププロジェクト」がホップを栽培する上飯樋地区・ゲストハウスCOCODAのほ場で、9月7日、『飯館ホップ収穫祭』が開催されました。

同プロジェクトによるホップの栽培は2年目で、収穫祭の開催は初めて。村内外から多くの人々が参加し、収穫と、ホップをちぎる初期の加工を体験しました。また、収穫後の「バーベキュー交流会」では、村産の野菜や牛肉を味わい和気あいあいと交流。「ホップの香りがとてもいい」といった感想やホップに関する質問も飛び交いました。今回収穫された8.4kgのホップは、クラフトビールの醸造に使用され、完成したビールは11月初旬にお披露目される予定です。共同代表の小高慎太郎さんは「今年は村民の皆さんと一緒にビールをつくって交流を深めたいと考え、この収穫祭を企画しました。ホップに興味を持っていただき、たくさんの方と交流できたことがうれしいです」と話していました。



トウモロコシの応援をありがとう!

8月29日、いいたて希望の里学園とまでいの里のこども園に、トウモロコシの贈り物が届きました。贈り主は、山梨県忍野村の農家、田邊達也さんです。震災直後から毎年のように、子ども達にトウモロコシを贈ってくださっています。昨年に続き家族と共に来村し、子ども達に美味しいトウモロコシを届けてくださいました。心のこもった応援に、子ども達が笑顔で感謝を伝えていました。写真はいいたて希望の里学園での贈呈式の様子です。



ツール・ド・ふくしまグルメライド

サイクルロードレース「ツール・ド・ふくしま」のコースの1つ『あぶくま山岳グルメライド40』は、9月6日、川俣町の峠の森自然公園をスタート・ゴールに実施され、多数のライダーが心地よい風に吹かれて村内を駆け抜けました。いいたて村の道の駅までい館では、飯館産牛肉を使用した「田舎レストランLa Kasse」のハンバーガーが振る舞われ、ライダーの皆さんがそのおいさを絶賛。また、「飯館村は自然がきれい。走るのが気持ちいい」と笑顔を見せていました。



飯館産牛肉を使ったパテにナツハゼソースを合わせた絶品バーガー。

飯館村花き勉強会

村内の花き農家を巡り、意見交換

8月29日、飯館村の花き生産の活性化を目的に、『飯館村花き勉強会』を開催しました。今回は、村内の花き農家を巡り、生産状況や技術を学ぶ内容で、花井由貴さん(大久保・外内)、菅野啓一さん(比曾)、武藤隆広さん(二枚橋・須萱)の農場を視察し、トルコギキョウ、小菊、カスミソウなどの栽培について学びました。

後半は宿泊体験館きこりを会場に、切り花市場の動向や、村における冬春期の花き栽培について意見を交わし、生産者同士がよりよい花き栽培について話し合いました。



9月の村の動きと主なできごと

- 6日・第19回市町村対抗福島県軟式野球大会及び第12回市町村対抗福島県ソフトボール大会
飯館村チーム結団式(交流センター「ふれ愛館」)
- 7日・第2回成人式実行委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- ・いきいきわくわく学びの旅第2回事後研修(交流センター「ふれ愛館」)
- ・ツール・ド・ふくしま「あぶくま山岳グルメリイド40」川俣〜飯館(いたて村の道の駅まで)館他
- 8日・比曾地区農地中間管理事業調印式(比曾集会所)
- 9日・八木沢・芦原地区農地中間管理事業調印式(八木沢芦原集会所)
- 10日・セブンイレブンジャパンがあぶくまもちの稲刈り(前田・八和木地区)
- 11日・小宮地区農地中間管理事業調印式(小宮)ミニニテセンター)
- 11日〜15日・SENDAI OKTOBERFEST(宮城県仙台市・錦町公園)
- 12日・図書ボランティア(交流センター「ふれ愛館」)
- 13日・飯館村議会議員一般選挙 告示
- 14日・第19回市町村対抗福島県軟式野球大会1回戦 対柳津町(小野町・小野あぶくま球場)
- 14日〜20日・飯館村議会議員一般選挙期日前投票(村役場)
- 16日・いたて希望の里学園・までのりの里のこども園 あぶくまもち稲刈り体験(前田・八和木地区)
- ・認知症キッズサポーター養成講座(いたて希望の里学園)
- 17日・革小物作り教室(交流センター「ふれ愛館」)
- 18日・福島ユナイテッドFCスポーツ教室(いたてスポーツ公園)
- ・第3回飯館村振興計画審議会(村役場)
- 19日・農業委員会定例会(村役場)
- 20日・飯館村議会議員一般選挙期日前投票(南相馬市・サンライフ南相馬/福島市・いいの交流館)
- ・創造的復興サミット(兵庫県神戸市・神戸ポートピアホテル)
- ・はつかいちサンブレイズセレクション及び「ニテ」ボール教室(いたてスポーツ公園)
- 20日〜21日・「あぶくまロマンチック街道」沿線地域物産フェア(福島市・コラッセふくしま)
- ・第21回ふるさと帰郷フェア2025(東京都千代田区・東京国際フォーラム)
- 21日・飯館村議会議員一般選挙 投票
- ・投票先: 村役場/福島市・いいの交流館 開票先: 交流センター「ふれ愛館」
- 21日〜30日・秋の全国交通安全運動(村内各所)
- 22日・飯館村議会議員一般選挙当選証書付与式(村役場)
- 24日・福島県立医大看護学生見学実習(いちばん館)
- ・第3回学校運営協議会(村役場)
- 25日・定例教育委員会(村役場)
- 27日・テニス交流会(いたてスポーツ公園)
- ・いきいきわくわく学びの旅報告会(交流センター「ふれ愛館」)

いたて魅力向上・発信事業 飯館村の魅力を各地で発信中

「飯館村の農畜産物の安全性や美味しさを直接消費者に伝える」ことを目的に、『いたて魅力向上・発信事業』を展開しています。今年度これまでに開催されたイベントの中から、飯館村の生産者や職員が現地に赴き、村の農畜産物の魅力を直接お伝えした2つのイベントについて紹介します。

バル仙台2025



6月20日から22日の3日間にわたり、宮城県仙台市の勾当台公園で開催された『バル仙台2025』に出店しました。夏の始まりの炎天下でしたが、村ブースは約950人の来場までにぎわい、冷えた日本酒やどぶろく、ナツハゼを使ったドリンクなどが人気を集めました。また、菓子工房Cocittoの焼き菓子、飯館産黒毛和牛を使った料理を振る舞いました。

SENDAI OKTOBERFEST



9月11日から15日、宮城県仙台市の錦町公園で開催された「SENDAI OKTOBERFEST」に出店しました。村ブースには、5日間を通して約1,500人が来場。飯館村の酒類と牛肉を使ったメニューを販売した他、日替わりで、前田明神そば生産組合の蕎麦粉を使用したおやき、あぶくまもちの甘酒、村産野菜のピクルスなど、バリエーション豊かな商品を販売しました。

福島県企業立地セミナーに参加しました



企業立地セミナーには約180人が参加。



竹内政務官を訪問。



大串副大臣を訪問。

9月1日、帝国ホテル(東京都千代田区)で開催された『福島県企業立地セミナー』において、杉岡村長が参加企業に向けて、整備中の深谷地区産業団地をPR。今年6月に創設した「飯館村企業立地等支援補助金」についても説明し進出を呼びかけました。また、セミナーに合わせて経済産業省を訪れ、大串正樹経済産業副大臣、竹内真二経済産業大臣政務官を表敬訪問。飯館村の風土の魅力と企業立地に関する情報を伝え、企業誘致への支援を求めました。

ふくしま駅伝への挑戦

歴史の散歩道

福島陸上競技協会と福島民報社が主催する『ふくしま駅伝』(市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会)は、平成元年に創設されました。各市町村のチームが総合順位、市の部、町の部、村の部で順位を競います。飯館村は、この大会で輝かしい成績を残してきました。村の部優勝が13回。そのうち平成4年から13年にかけては10回連続、平成15年から17年にかけては3回連続の優勝を記録。また、平成12年の第12回大会では、市の部、町の部を加えた総合順位で5位(村の部1位)に入賞しています。

大会は、東日本大震災が被災した平成23年にも開催されました。平成25年にはチームを編成できない町村の合同チームが正式に認められ、県内全59市町村が初めてそろって出場しました。避難を経験した飯館村も選手の確保がいよいよ困難になりました。しかしチームの懸命の努力、学校の教員・生徒、卒業生らの貢献などにより、フル出場、前半または後半のみの出場、オープン参加など、毎年状況に応じて単独チームを編成し、タスキをつないできました。平成27年、令和2年には取組賞も受賞しています。今年も選手の確保に至らず、飯館村チームは初めて出場を見送ることになりました。しかし村のタスキは、村民皆の心の中にあります。復活の勇姿を築き、これからも飯館村チームを応援していきましょう。村は、次回大会に向け、チームに参加くださる方を引き続き募集しています。(問合せ先 生涯学習課 0244-42-0072)



16区間のフル出場を果たし取組賞を受賞した第27回大会。ゴール後、チームの記念撮影。(平成27年)

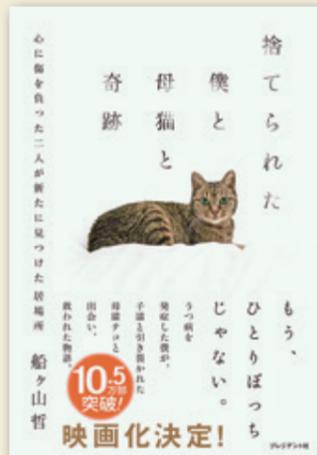


3連覇を果たした第17回大会。ゴールの福島県庁前でアンカーを胴上げ。(平成17年)

10月27日から11月9日は『読書週間』です。最近読書をしていますか。読書は読解力や語彙力、記憶力、集中力、想像力を向上させるなど、さまざまなメリットがあります。ぜひこの機会に読書の秋を満喫しましょう。

10月27日から11月9日は『読書週間』です

船ヶ山哲／プレジデント社
うつ病を患った著者が保護猫との出会いを通して生きていく力を取り戻していく実話。出会いから別れまでの物語。普段当たり前にある日常を大切にしようと思える1冊です。



捨てられた僕と母猫と奇跡
おすすめ図書を紹介いたします

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

いいたて
なりわい
REPORT
vol.15

公共事業を通して復興の道のりと村民の暮らしを支えています
株式会社 東栄



株式会社東栄は、平成21年の創業。創業者で代表取締役社長の西川孝広さんは宮内地区の出身で、南相馬市の建設会社に勤務した後、独立。伊丹沢地区に社屋を構えて建設業と運搬業を営み、村内及び南相馬市エリアで、多数の公共事業にも携わってきました。

東日本大震災の発災時は、国に認められ、特例で村内の営業を継続。社員が避難先から通つて、復興事業に取り組みました。

西川社長は「当時どのよう動いていたかを正確に思い出すのが難しくなりま



多種類の大型車両を保有しています。

した」と話します。状況の変化に対応を続けた、当時の多忙さがしのべれます。震災後、南相馬市にも拠点となる営業所を設置。また、敷地が手狭になり、平成28年には社屋を隣地に移転し建て替えました。

同社は、除染作業、除去土壌を保管する仮仮置き場の整備、その後の基盤整備事業など、多くの事業に参画し、フェーズに応じて村の復興を支えてきました。

現在の社員は31人で、従業員は全員が、大型特殊車両の免許を持っています。「やる気さえあれば、それ



道の駅を盛り上げようとイベントを開催。

らの免許を持たない方も採用しています」と西川社長。「入社後に会社負担で必要な免許を取得してもらっています」。後継者となる長女の新開茜衣梨さんも大型車両のドライバーとして活躍しています。

令和4年からは道の駅で「はたらくクルマ大集合!」と題したイベントを開催。「集客に少しでも貢献できれば」と、現場に出ている車両も2日ばかりで会場に運び入れます。イベントでは毎年、来場した子ども達も本物の重機や大型車両に親しみ目を輝かせています。



株式会社東栄
飯館村伊丹沢字伊丹沢834-8
☎0244-26-7682

※求人については直接同社にお問い合わせください。

取材日の夕方に、それぞれの現場から帰社した皆さん。和気あいあいと撮影に協力していただきました。社内の雰囲気よさが伝わります。

人々の営みと自然が織り成す
ふるさとの宝 夏にきらめく

第36回

杉岡 誠村長の
愛楽故郷味
あいらくふるさとみ



長らく暑い日が続いておりましたが、季節の変わり目、すっかり秋らしい気候に切り替わった晩夏。
8月末、郡山市のc a t o e さんにて、「飯館村の夏」をテーマとしたランチイベントが開催されました。加藤シェフ自らが村に来訪し、宝探した食材の数々を使つてのフルコースの提供。本場に贅沢で芳醇なマリアーヂュを味わう中で、また一段と飯館村の食材の可能性の広がりを感じました。生産者の皆様が手塩にかけ、丹念に育てられた産品を皆様に楽しんでいただけること、これほどの喜びはありません。
また、飯館村には多くの学生が訪れています。東京大学、大阪大学、慶應義塾大学、上智大学、明治大学、福島大学の皆様の他、今年も岐阜高校の先生方にもお会いしました。私も熱心な学生の皆様からの質問に、時間を忘れてしまうことも多々ありました。「ハシドラができて買い出しが「一気に便利になった」「飯館村であるBBQは最高」と言うお声も聞き、嬉しく存じます。
夏の飯館村といえば、特筆すべきは美しい星空です。スマートフォンだけでなくかなり綺麗に夜空が写せます。ぜひ皆様も飯館村の夜空を見上げて、写真撮影にチャレンジしてみてください。
私たちの周りには、この大自然、美しい景色を愛する人々によって守られてきたのではなく、ふるさとを愛する人々によって守られてきたものではないかと、ふるさとを再発見し、力強く発展させていきたいと、村の田畑、山々、夜空を眺めるたび思いを新たにします。愛すべき飯館村の価値を創造し、守りゆくのは他でもない、私たち村民一人ひとりのことです。
今年も「あぶくまもち」の切餅が、セブンイレブンの冬ギフト2025に載りました。製品化や6次化される「あぶくまもち」を是非お手に取り、味わっていただきたく存じます。皆様、この秋もどうぞ御身大事にお過ごしください。



ある夜に見上げた飯館村の星空です。

■ ひとのうごき

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
阿部 心音 ちゃん	智 さん 美由喜さん	草野
大和田 律 くん	諒 さん 裕日子さん	小宮

HAPPY BIRTHDAY!

おくやみ

氏 名	年齢	行政区
佐藤 和生さん	73	関根・松塚
赤石澤 武光さん	89	大久保・外内

ご冥福をお祈り申し上げます



(8月21日から9月15日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

ひとのうごき 令和7年9月1日現在

人 口	今月 (前月比)	8月1日~31日までの人口動態
●男	2,241人(-13)	転入 2人
●女	2,159人(-10)	転出 17人
計	4,400人(-23)	出生 0人
世帯数	1,799戸(-1)	死亡 8人
		(住民基本台帳人口)

空き家サポーターMessage 住み継ぐ村の宝

住まいのこれからについて一緒に考えましょう!

片付けのお悩み、ありませんか

空き家サポーター



渡邊守男さん(小宮)

いいって空き家サポーターの渡邊守男です。空き家サポーターは村の資源でもある住まいの利活用を提案しています。皆さん、「完璧に片付けないと人に貸せない」と思っていないですか。ある所有者さんは、手放せない荷物は家の2階部分に収納し、1階部分だけを貸し出す形で賃貸に出しました。結果として単身で住みたい借り手のニーズにも合い、所有者さんにとっては片付けの負担を減らしつつ住まいを活用できた事例が生まれました。柔軟な活用方法があることを知り、できることから一歩を踏み出してみませんか。



空き家空き地バンク・住まいの利活用に関するご相談は
いいっての暮らしをつなぐステーション3ど
(いいって移住サポートセンター)
伊丹沢字伊丹沢578番地1
☎0244-68-2850

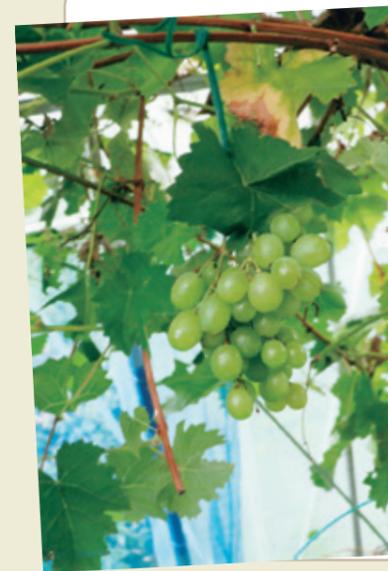
いいって村の道の駅
までい館内にもサテ
ライトがあるよ!



皆さんが広報委員!
フォト
いいって PHOTO リレー
月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。

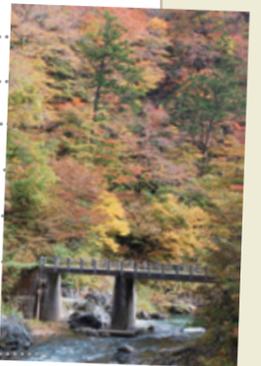


撮影 寺岡清之さん(飯樋町)
テーマは「食欲と紅葉の秋」



写真撮影が趣味で、自然豊かな村の風景を撮影している寺岡さん。左の写真は自宅の庭で育てているシャインマスカットを撮影した1枚です。「おいしいブドウを自分でも育ててみたいと思い、これも趣味で育てています。3年前に鉢で買った苗を育て始め、初めて実を付けました。今年は5房でしたが、来年はもっとたくさんできたらいいですね。食欲の秋にピッタリの写真です。

右の写真は、震災前に撮影した紅葉の写真です。小宮地区と南相馬市の境にある橋で撮影しました。「見事な紅葉で、額に入れて家に飾っていたら、家を訪れるいろいろな人に「きれいだからぜひほしい」と言われ、配ったりもしました。広報に載ることで、より多くの人に見ていただけたらうれしいです」と話していました。



11月号 10/15締切
例えば…「紅葉」「ハロウィン」「スポーツ」「読書(本)」をテーマに。

12月号 11/14締切
例えば…「七五三」「柿」「冬の始まり」「菊の花」をテーマに。

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 写真枚数 1掲載につき1~2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選考 応募多数の場合は選考します。
- 報 償 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613

